

**アークフラッシュ施工された老人施設からは5年間インフルエンザの発症が報告されておりません。**

<< 通販開始 >> <http://homepage2.nifty.com/arc-clean/>

<< 鳥インフルエンザ情報 >>

ベトナムの国営メディアは、35歳の男性の死因を検査した結果、鳥インフルエンザで死亡したことが明らかになった、と伝えた。今回の流行では、ベトナムで初の死者となる。男性は先月末、ハノイで死亡した。

中華医学会の鐘南山・会長は7日、湖南省・湘潭県で3人が原因不明の肺炎にかかり、そのうち1人が死亡したことにに関して、「3人が鳥インフルエンザに感染したという最終的な診断は下されていない」と説明。これは中国特有の嘘であろう！！

ただし、この3人のうち2人が家禽類と密接に接触したことがあったため、これまでに周辺住民など100人あまりが隔離され、検査を受けたことを明らかにしている。8日付で情報時報が伝えた

鳥インフルエンザに感染していながら感染の兆候を見せないニワトリが見つかったことで、鶏卵の安全性に懸念が生じている。

感染したニワトリが産んだ卵にウイルスが含まれるかどうかについて、科学者の意見は分かれるものの、卵の殻がウイルスを含むふんで汚染される可能性があるためある程度のリスクはある、という点は指摘されている。

H5N1型インフルエンザに感染した鳥のふんや気道分泌物には多量のウイルスが含まれ、これがウイルス蔓延を助長する。

医師らはこれまで、鶏肉は十分に火を通していけば安全だとしてきた。だが卵の安全性については、感染したニワトリが通常24時間以内に死に卵を産むに至らないため、注目されてこなかった。

しかし、インドネシアで最近、ウイルスに感染しているのに元気でいるニワトリが発見され、卵の安全性についての確認が急務となった。

医療専門家らは、感染している鳥に症状が出ないことで、ウイルスの発見や制御が著しく困難になるとして大きな懸念を表明している。一部では、日本などアジアの一部の地域で好まれる**生卵や半熟卵**について警告する声も出ている。

新華社は、先週H5N1型鳥インフルエンザウイルスの発生が確認された北東部遼寧省で、発生地点から半径3キロ以内の家禽600万羽すべてが処分されたと報じた。

今回の発生による人体への感染は報告されていないが、中国は6日、南部湖南省で感染が疑われている肺炎患者3人について検査するため、世界保健機関(WHO)の専門家を招くと発表した。

新華社は、これまでの検査では3人からH5N1型ウイルスは検出されていないとしながらも、これも中国特有の嘘、3人が発生地域付近の住民であることから感染の可能性は否定できないとしている。3人のうち12歳の少女は死亡した。

当地の世界保健機関(WHO)本部で開かれていた鳥インフルエンザと新型インフルエンザ対策のための専門家会議は9日、対策に今後3年間で10億ドルが必要とするとともに、2006年1月17、18日に北京で拋出国会合を開くことを決め、閉会した。

新型インフルエンザ対策として厚生労働省は10日までに、抗ウイルス薬タミフルの備蓄目標を、1億5000万カプセル(標準使用で1500万人分)から2億5000万カプセル(同2500万人分)へと、約1.7倍に増やす方針を固めた。

政府による備蓄を大幅に増やし都道府県分と合わせ7倍の2億1000万カプセルに増量する一方、市場流通での確保を3分の1の4000万カプセルに削減する方向で調整中。民間頼りから行政主体へと転換し、新型発生時の推計受診患者に必要な量を準備する考えだ。

緊急の財政措置が必要なため、関係省庁とも協議し最終的に詳細を決定する見通し。ただ、新型に変異する恐れがある高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1型)がアジアから欧州にも拡大、世界的にタミフルへの需要が高まっており、確実な調達が大きな課題となる。

### **来た！！来た！！来た！！**

家禽(かきん)類の鳥インフルエンザ(H5N1型)感染が確認された中国湖南省の農業当局者は9日、感染地区の豚からもH5N1型が検出されたことを明らかにした。10日付香港紙、明報などが報じた。

### **豚への感染が確認されれば、中国では初のケースになるとみられる。**

湖南省では10月、感染地区に住む3人が原因不明の肺炎にかかり1人が死亡。3人がH5N1型に感染した可能性は排除できないとして、当局が原因究明に当たる方針を示している。

湖南省農業庁は、同省湘潭県で鳥インフルエンザの人への感染疑い例が出ていることに関連して行った調査で、同じ地区内で飼われていた豚の口腔内分泌物から鳥インフルエンザのウイルスを発見したと発表した。

同省で豚への鳥インフルエンザウイルスの感染が認められたのは初めてで、農業庁はすでに国家衛生局に通報しているという。10日付で香港・経済通が伝えた。

インフルエンザの予防は、発病の絶対量を減少させる事であります

社内での感染、院内での感染に注意が必要となります。本年のインフルエンザは世界で2000万人が死亡したスペイン風邪の再来です。通常、通年のインフルエンザとは訳が違います。ご注意ください

<<女優 土田早苗さん ARC-FLASH の素晴らしさを体験の予定>>



**\*発行責任者:株式会社アークフラッシュ本部**

笹川 透

03-5337-7275 FAX 5337-7465 [honbu@arc-flash.com](mailto:honbu@arc-flash.com)

1号～28号までを配信希望の方はメールにて申込ください。